一人ひとりに愛と希望を
社会福祉法人 九十九里ホーム
NEWS LETTER vol.07 2020. 1. 6
匝瑳市版 CCRC　生涯活躍のまち匝瑳　NEWS LETTER

飯倉駅前で始まった生涯活躍のまちづくり
第2回 リレーインタビュー

11月号では須賀地区（高野）の居住歴33年の地元市民・柏熊綾さん、栄地区（堀川）の居住歴10年の移住市民・鈴木義明さんから匝瑳のまちについてお聞きしました。12月号ではこのお二人からバトンを渡された方々にインタビューし人々が感じているまちの暮らしをさらに深掘りしてみます。 ※CCRC=Continuing Care Retirement Community

匝瑳ってこんなまちです。
柏熊さんからバトンが渡されました。**須賀地区(高)の鈴木瑛莉さん**に聞いてみました。

＜特別養護老人ホームの夏祭りで利用者さんと一緒に　左＞

◇ 好きな食物：肉類、甘いもの　◇ 趣味：旅行、音楽鑑賞　◇ 好きな言葉：一生懸命　◇ 職業：介護士

Q. 匝瑳市には何年くらい住んでいますか？

A. 32年です。先祖代々、ずっと匝瑳に住んでいます。離れたことはありません。生まれも育ちも匝瑳です。都会には遊びに行くのはいいけれど、住もうとは思いません。

Q. それはどうしてですか？

A. 緑が少ないし、せわしないので、落ち着かないからです。

Q. 匝瑳市の好きなところ、自慢できるところは？

A. 緑が豊かで海も近くにあり、のどかです。星がきれいなんです。穏やかに暮らすことができます。スーパー等も色々あって買い物に不便なこともありません。成田空港やイオンなどのショッピングセンターにも車で1時間ほどで行けます。おしゃれなカフェやご飯屋もたくさんありますし、子供のころからの同級生が地元に残っていて、買い物やお祭りで会っても気さくな感じで声をかけてくれます。

A. 鈴木さんのおすすめスポットは？

Q. 自宅の裏手に広がっている田園風景です。夏には小さく花火も見えます。見ていると落ち着くんです。あとは「うれし野」という甘味処。名物のじまん焼き、焼きそばなどがおすすめです。

Q. 地元の食べ物はどうですか？

A. 自分の家の田んぼでとれたお米がおいしいです。野菜も自分の家の畑で栽培したものや近所の人がつくったものをもらって食べていますが、どれもおいしいです。

Q. 暮らしにくいところは？

A. 電車の本数が少なく、車がないと不便です。八日市場駅と横芝駅には特急が停まりますが、その間にある飯倉駅には停まりません。市バスの便も少ないし、遠回りする行程なので目的地まで時間がかかります。車があれば不便はありませんが、車の運転ができない高齢者など交通弱者の方々は買い物、通院などで移動するのに困ると思います。

Q. 鈴木さんの将来への希望は？

A. 結婚し、子供を産み、匝瑳市で育てられたら良いと思います。また、介護の仕事も好きなのでこれからもずっと携わりたいです。

Q. 暮らしていて驚くような出来事はありますか？

A. めったに驚くことはありませんが、この辺の猫は堂々としているのかふてぶてしいというのか、人や車が近づいても逃げません。置物みたいです。危険を感じないのだと思います。たまに近所の人が酔っ払ったりして道に倒れています。小学校の時は、片道1時間の道のりを歩いて通っていました。日が暮れるのが早くなる季節は、寄り道すると暗くなっていましたが平気でした。

＜夏祭りでお囃子の笛を吹く鈴木さん　左＞

おもて

NEWS LETTER
vol.07
2020. 1. 6

匝瑳ってこんなまちです。鈴木義明さんからバトンが渡されました。Uターンした**豊和地区（大寺）の林由佳さん**に聞いてみました。

◇ 好きな食物：野菜（特に茄子）　生魚はダメ　◇ 趣味：読書（乱読。皆川博子など）
◇ 好きな言葉：［足るを知る］　◇ 職業：理容師（理容オオデラ：旧大寺理容館）

＜病院や特別養護老人ホームに出張し散髪します＞

Q. 匝瑳市にはどれくらい住んでいますか？

A. 生まれた時からです。代々このあたりに住んでいます。

Q. 匝瑳市を離れていたことはありますか？

A. 高校卒業後６年半、柏市の理容室に勤めていました。実家が理容館をやってたので家の仕事ができるように、半分いやいやながら修行に出たという感じです。始めてみたら楽しく、母が一人でやってたので継ごうと思い帰ってきました。

Q. 柏と比べて匝瑳のまちはどうですか？

A. とても居心地がいいですよ。せかせかしてないし、子供の頃から知ってる近所の爺ちゃん、婆ちゃんがいてとても親切にしてくれます。シャイだけど気さくで話しやすい人が多く、親しみが持てるのでどこかでつながっているという感覚があります。自然も豊かで近くの里山を歩いていると心が和みます。かといって田舎過ぎずに、ふれあいパークやドラッグストアなどのお店も結構あります。柏は行ったばかりの頃は恐かったです。理容室ではお客さんに一人〇〇分でやらなければいけないという決まりがありました。速さ、丁寧さ、正確さを求められていましたが、どちらかというと時間に追われて、丁寧な仕事ができませんでした。私は、速さを求めるのではなく、その人の心身の状態や希望していることなどを考え、その人のためになる丁寧な仕事がしたいと思っています。このまちではそれができます。

Q. 林さんのおすすめスポットは？

A. 家の裏庭から見える景色です。田んぼや森が広がっているだけですが昔と全く変わりません。子どもの頃はよく山に入って遊んでいました。山つつじがとてもきれいでしたし、キノコやアケビなども採れて楽しかった。今は山を手入れする人がいなくなり、荒れていて入れません。でも、近くの里山では地元の人がボランティアで草刈りや庭の整備をしています。農薬を使わないので田んぼでは蛍が見られます。里山もいいですね。それから、松山庭園美術館もおすすめです。四季が楽しめます。

Q. 暮らしにくいところは？

A. 交通の便が良くないので車がないと出かけるのが不便ですね。バスの便が少なく、遠回りするので。その他は普段生活するには困りません。高齢者には、近所の人が送迎しています。

Q. 暮らしていて驚くような出来事はありますか？

A. 家に帰ってくると、誰が置いたのかわからないけど玄関に野菜が置いてあることが度々あります。食べ物は野菜だけでなく、魚、肉、お米も美味しいです。あと、家で飼っていた烏骨鶏、オシドリがハクビシンに襲われ殺された時はびっくりしました。山から出てくる野生動物には困っています。

理容オオデラ（大寺理容館）

＜林由佳さん（右）とお母さま　自宅の理容店前で＞

お互い様・恩送りのまちづくり

「お互い様」には、助け合う、協力するという意味があります。困っている人を助ける際に、相手に気を遣わせないように助けることです。恩を売ったり、恩に着せたりすることなく、大震災や台風災害でボランタリーな救援活動が行われているように、無償でお互いが助け合うことを指します。

「お互い様」は、「恩を返す」こととはちょっと違うようです。民話「鶴の恩返し」では、助けられた鶴がお爺さんとお婆さんにその恩を返すために自分の羽毛を抜いて布を織り、お爺さんたちの暮らしを助けます。「恩返し」は基本的には恵みを受けた人へのお返しです。皆さんは「恩送り」をご存じですか？

お互い様を広げつなげていく行為が「恩送り」ではないでしょうか。誰かから受けた親切・善意を相手に返すのではなく、他の誰かに次々に渡していく行為です。そうすると恩（恵み・慈愛）が世の中を回っていき、愛情の連鎖が起きるのです。

九十九里ホームは、匝瑳市から地域再生推進法人に指定されました。お気軽にご意見をお寄せください。

お問い合わせ先．　☎ 0479(72)1400(代表)　　E-mail：sw99home.machidukuri@axel.ocn.ne.jp
社会福祉法人 九十九里ホーム　法人本部/飯倉駅前まちづくり事務局/庄村まで.

う　ら